



hana 67

令和4年8月発行

編集 慶徳会 広報室
〒567-0035 茨木市見付山1丁目3-29
電話 072-665-5165
FAX 072-665-5166

就任一年を迎えて

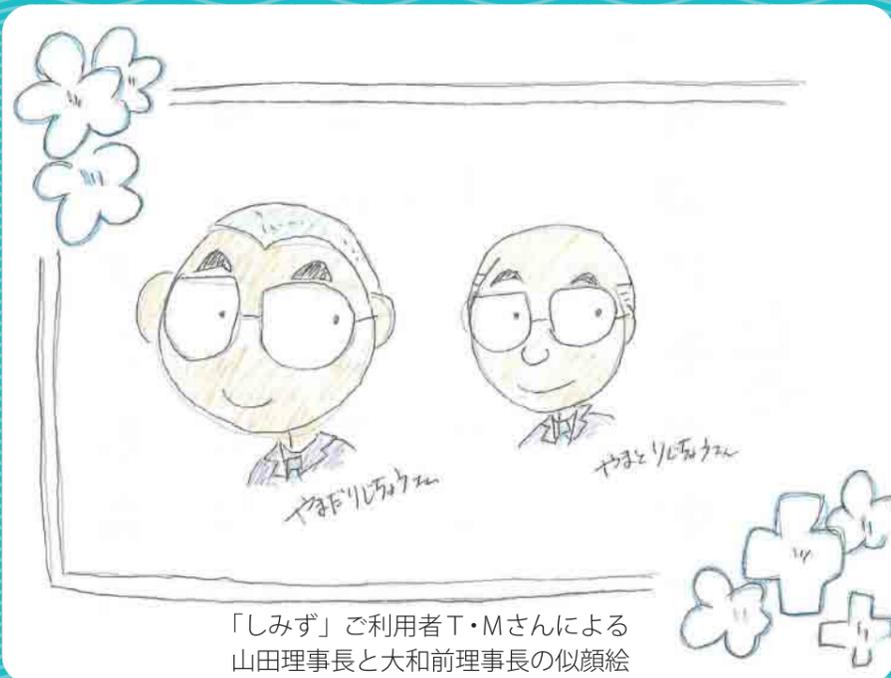
理事長 山田健一郎

令和3年6月に大和前理事長の後任を仰せつかることとなり、早や1年が経ちました。新執行体制に移行後も、引き続きコロナ禍への対策に追われましたが、ご利用者・ご家族、また地域の医療機関や関係者の皆様の深いご理解と多大なるご支援・ご協力と、法人役職員一丸となつての感染予防対策の徹底の結果、何とか乗り切りながら、今日に至っていることに厚く感謝を申し上げますとともに、本年度はさらに工夫を凝らすことにより、皆様に一層のご満足が頂ける法人・事業所を目指してまいります。

また、昨年度は慶徳会が創立90周年を迎え、コロナ対策を講じたがらの「記念事業」とこれに並行して開催した「秋華祭・文化発表会」が大きな行事でしたが、コロナ禍でのイベント開催ということで多くの課題と制約の中、実行委員会と協議を重ね、試行錯誤を繰り返しながら地道な準備を進め、関係者の皆様のご協力を頂きながら取り組むことができ、大変多い機会でもありました。

これらの取組を通じて、次の100周年に向け慶徳会を巡る課題認識を新たにしたいところでもありますので、法人役職員が一つになつて、こつこつと地道にその取り組みを進めていく所存です。

ご利用者・ご家族を初め、地域の皆様、そして関係者の皆様に改めまして深く感謝致しますとともに、今後一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



「しみず」ご利用者T・Mさんによる山田理事長と大和前理事長の似顔絵

～西河原デイサービスC.～

「通所型サービスC」を開始!

西河原デイサービスセンターでは、新規事業として令和4年5月から市内で4カ所目となる通所型サービスC(短期集中リハビリトレーニング)事業を開始しました。

この事業は、茨木市総合事業のサービス体系の一つで、皆様個々の持てる能力に応じ、住み慣れた地域で自立した日常生活を継続して頂けるよう、短期間集中的なアプローチにより、心身機能の改善を目指すことを目的としています。

定員5名で、約3カ月の間に週1回利用し、専門職によるリハビリプログラムの実施や栄養改善・口腔機能向上など多角的にアプローチ致します。

理学療法士が個別面談をさせて頂き、ご自宅でも取り組む運動方法のアドバイスを致しますが、



参加者全員で「ストレッチ体操」



理学療法士による運動指導



個別面談や

和やかに「栄養指導」も

熱心に説明をお聞きになる様子や、また、時折笑い声が聞こえるなど終始和やかな雰囲気です。また、このサービス修了後も自らやる気を持つて続けて頂くことが大切ですので、事業所のサポートとして、併設の多世代交流センターで、引き続き運動の機会を提供させて頂くとともに、「仲間づくり」にも支援をさせて頂く予定です。

同センターでは、この事業の第1期生の皆様から交流関係を広げて頂き、新たなサークル活動の創設やボランティア活動などへのお力添えをご期待申し上げますので、この事業へのご参加をきっかけにして、「活動と交流の好循環」として頂きますよう取り組むを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



令和4年3月18日に、ダーナ基金(浄土真宗本願寺派ご信徒の皆様)の浄財)のご寄付を大阪教区仏教婦人会連盟ダーナ委員会(委員長 野口満寿子様)から頂戴致しました。

例年は、常観堂でのお参りや施設ご見学も含めて、委員会の皆様にご訪問頂いていましたが、残念ながらここ数年はコロナ禍で見合を心からお待ち申し上げます。

なお、ご厚志は、広報活動経費や事業所環境改善のために活用させて頂く予定です。



「慶徳会創立90周年記念事業」として常観堂での「八重桜」（既報）を初め、各事業所で記念植樹をしました。

子どもの家では、『百日紅（サルスベリ）』と『小手毬（コテマリ）』を令和4年6月18日、慶徳会グループに植樹しました。

百日紅には、【強い生命力・真夏に強く100日以上も花を咲かせることから幸せが長く続くように】、そして小手毬には、【小さな花を沢山つけることから、子どもの将来が健やかで小さな花のように無数の喜びで溢れるように】とそれぞれに思いを込めました。

植樹の際は子ども達一人ひとりが木に土をかけながら、成長を祈念し、初めての経験でしたので、職員ともども心温まる忘れられない一日になりました。

西河原福祉交流センターでは令和4年2月「もみじ」を植樹しました。



もみじ
（「西河原」）

百日紅
（「子どもの家」）

創立90周年記念事業

各事業所で「記念植樹」



ヒメコブシ
（「はぎ」）

常緑ヤマボウシ
（「在宅支援センター」）

榎
（「華の間」前の花壇）

花言葉は「大切な日」です。毎日を「大切な日」と心得て事業を展開する慶徳会が樹の成長とともに一層発展することを祈念したものです。

見付山では、令和3年10月から同4年2月にかけて、見た目に美しく又は爽やかな、そして花言葉が素敵でそれぞれの事業所の思いを表す樹木を選定しました。

「ふじ」の玄関前には百日紅（花言葉は「愛嬌」、在宅支援センターの玄関脇には、常緑ヤマボウシ（同「友情」）、見付山めぐみの里・「はぎ」の庭先には、ヒメコブシ（同「歓迎」・「出会い」・「友情」）、そして、「華の間」前の花壇には、榎（同「慈愛」）を植樹しました。

植樹を契機として、それぞれの思いが届く事業環境に成長するよう願っています。

「NHK歳末たすけあい募金」を頂きました



可愛いお弁当箱と水筒

毎年、子どもの家には「大阪府共同募金会」の募金活動の一環として実施される「NHK歳末たすけあい助成金」が交付され、これを活用して、今年是小・中・高新入学の児童10名を対象に入学準備品を購入しました。

サックを買い換え、部活を始める予定にしていたこともあり、大きめのたつぷり入るものを選んでいました。高校入学後は、バスケット部で、頑張つて練習に参加しています。

新しい学校生活に向けて自分



タップリ入る
大リュックサック

小1の女の子のうち一人は、好みのキャラクターのお弁当箱と水筒を選び、暑い日が続きま

ので、毎日水筒持参が楽しみですので、新高1の男子のうち一人は、使い込んだリュック

の好きなものが手に入ること

で、子ども達にとつても心が弾む楽しいお買い物です。

こついったご支援を続けて下さることに子ども達・職員一同、とても感謝しております。

「花祭り音楽法要」などを開催

～子どもの家中心に～

令和4年4月10日（日）春の陽気の中、子どもたちの子ども達と職員、理事長及び各事業所の施設長などと、静野先生祥月命日法要に引き続き、音楽法要により、お釈迦様のお誕生をお祝いする「花祭り」をお勤めました。

常観堂では、お誕生仏を安置する「花御堂」の周りに色とりどりの花が供えられ、「花祭り」の雰囲気が高まる中で法要が始まりました。

子ども達の元気よく爽やかな声による仏歌が響く中、代表の子ども達による厳かな献華・献燈・献香・献茶などの儀礼の後、一人ひとりが真剣な面持ちで灌仏（甘茶を注ぐこと）を行いました。

この日は園の女の子達が、丁寧なそれぞれの役割を担ってくれました。法要後の「お花見」は、あいにくソメイヨシノの盛りが過ぎ、八重桜が咲くまでの合間の時ではありまし



「法話」に聞き入る
子ども達

たが、天気が良かったこともあり、ポカポカとした陽気の下で、園厨房職員が心づくしの「特製お花見弁当」に舌鼓を打ちました。

「コロナ禍の終息が未だ見通せない中ですが、今後も感染予防に努めながら、子ども達にとつて楽しい思い出がたくさん残るような活動づくりに、職員一同日々邁進していきたいと思ひます。

～子どもの家～



「三三三」乗車体験など！

で写真を撮パシャリ！

「三三三」にもっと乗りたかった！」「珍しいクルマがあつて、楽しかった！！」などと大満足の「子どもの日」になりました。

主催者の茨木ライオンズクラブ様には、これまで長年にわたつて多岐に渡るご支援を賜っております。「チャーターナイト60周年」を心からご祝福申し上げますとともに、今後とも温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和4年5月5日（木・祝）、茨木市中央公園北グランドにおいて、茨木ライオンズクラブ主催の「災害・防災講習&子どもフェスタミニSSL」に子どもの家の幼児さんと小学生30名が参加させて頂きました。

爽やかなお天気の中、ミニSSLに乗ってグループ内をグルッと一回り！初めての珍しい体験に乗り物好きの子ども達は大喜びでした。

また、ポニーの手綱を引いて一緒に散歩をしたり、人参を上げたりと動物との貴重な触れ合いも楽しめました。

一方、災害と防災フェスタとして、普段あまり目にする事のない消防・警察車両が勢揃いし、子ども達は、珍しい消防バイクなどの前